

【教育目標】 地域を愛し、夢と希望を持ってたくましく生きる子どもの育成

HOMETOWN HISAWA EDUCATION ～学びの本拠地・検沢 平成29年6月13日(火)

松っ子だより

検沢小学校学校だより No.4

文責：校長 星 俊 夫

☆ 教育実習生の室井 良太先生、お疲れ様でした！！



6月の第2週目（5日～9日）に教育実習生がきました。室井 良太君です。良太くんは、栄養教諭を目指しており、その免許を取得するため母校である本校で実習することになりました。短い期間でしたが、子どもたちともすぐに仲良くなり、しっかりした目標を持ってがんばっていました。最後の日には、自分で指導案を作成し、5年生の家庭科の授業を行いました。慣れないながらも、真剣に授業に臨むその姿勢に感心しました。授業のまとめで、「いつも食事を作ってくれる家族に対して、感謝の気持ちを言葉や態度で具体的に表すことはとても大切なことです。」と、子どもたちに話しました。彼が一番言いたかったことだそうです。

検沢で育った青年の真摯に取り組む姿に、あこがれを抱いた子どもたちもいることでしょう。爽やかな風が吹いた1週間でした。良太君の輝く未来を心から祈ります。ありがとうございました。

家族が作ってくれる料理を毎日食べることができる。じっくり考えてみると、これ以上幸せなことはありません。食事だけでなく、子どもたちが当たり前のように繰り返す毎日の生活は、家族の誰かがいつも支えています。

「ありがとう」という感謝のあいさつを大切にしている人になってほしいですね。※ 現在6600万人の小学生が空腹のまま学校に通っているのが世界の現状です。

☆ 笑顔かがやけ検沢の子！ HOMETOWN HISAWA EDUCATION ～学びの本拠地・検沢

☆ むし歯のない子100%をめざしましょう！



むし歯のない子 代表
金井 日南太 君

治療完了むし歯なし 代表
阿久津 結良 さん

6月4日はむし歯予防デーでした。5日の給食の時間に、むし歯のない子の表彰を行いました。「むし歯のない子」とは、4月の歯科検診で、もともとむし歯がない子と、むし歯の治療が完了した

子たちです。福島県では、現在「むし歯」が大きな問題になっています。新聞やTVでも取り上げられましたが、平成26年度の調査では、県内の幼稚園から高等学校まで「むし歯の罹患率」が全国の割合を上回ったとされています。むし歯を放っておいて良いことは何もありません。早い時期の治療では、痛みも少しです。早め早めの治療をしましょう。

← むし歯、予防集会(保健委員会の発表)



☆ 生命が生まれる、生命を守る、生命を育む。

3年生の教室では、キャベツの葉に付いていた卵から、幼虫・さなぎを経てモンシロチョウがきれいな成虫になりました。もう9羽ほどが成虫になり、5羽が巣立っていきました。

3年生が育てたモンシロチョウ



卵から成虫になるまで、飼育するのは、とても難しいことですが、大竹先生と子どもたちが見事に育てました。

今年は、掃部 千鶴さんのアドバイスで、



プールで生き物採集

プール清掃の前に、プールの中にいたオタマジャクシやゲンゴロウ、ミズカマキリなどの生き物を採集し、水槽でしばらくの間観察しました。小さな生き物でも私たちと同じ生命を宿しています。この世界に生まれ来るすべての生命の重さは、最初はみな同じです。学びのフィールドがますます広がる

HOMETOWN HISAWA!